

〔所 感〕

長崎市議会議員 五輪 清隆

福州市との友好都市 30 周年記念として実施された、親善訪問団 96 名の一員として参加しました。

公式訪問団が福州市への表敬訪問、友好都市提携 30 周年記念祝賀会では熱烈な歓迎を受け感激しました。

私は水産分野の研修会に参加し現地視察などを行いました。ホテルから現地までは車で約 2 時間位で昆布・アワビが養殖されている所でした。

昆布は 10 センチメートル位までは陸上養殖で、秋から翌年の春まで海上養殖して半年で 4 メートル位に成長させて製品化して販売しているそうです。

長崎市の水産センターでも同様に試験をしているそうですが、最大 2 メートル位しか成長しないそうですが福州市と長崎市の環境の違いを早急に究明しなければならないと思いました。

アワビの養殖場は驚きの一言でした。壮大な湾内全体が養殖場で初めて見る光景で 6 億個が養殖されて、日本で 3 ～ 4 年位養殖して出荷しているが、現地の養殖場は 2 年で出荷されて中国国民に低価で提供しているそうです。

私が一番気になっていた台風・赤潮対策をどのように対応されているのかと質問したら、人力で養殖しているアワビの筏本体を移動されているので、少し被害はあるが日本のような大きな被害はないそうです。

両養殖施設とも順調で地元住民にとって働く場ができて、貧困な町から裕福な町となっていますので雇用の創出がもたらした事業であると確信しました。

是非とも長崎・福州市との技術提携は今後も友好に続けていただき両市の技術向上に結びつけてもらいたい。

今回、初めて福州市に訪問させて頂きましたが、日本と中国との友好関係を感じました。今後参加した経験を議員活動に活かしていきます。

最後に公式訪問団として参加できた事に感謝いたします。